

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3972400349
法人名	医療法人 岡本会
事業所名	グループホーム 高岩
訪問調査日	平成 19年 9月 13日
評価確定日	平成 20年 1月 25日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年 9月26日

【評価実施概要】

事業所番号	高知県指定 第3972400349
法人名	医療法人 岡本会
事業所名	グループホーム 高岩
所在地 (電話番号)	高知県吾川郡いの町小川西津賀才126 (電話) 088-850-5400

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年9月13日	評価確定日	平成20年1月25日

【情報提供票より】(19年8月15日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成16年 8月 1日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18人
職員数	16人	常勤	9人, 非常勤 7人, 常勤換算 12人

(2) 建物概要

建物形態	単独	改築
建物構造	鉄筋造り	
	2階建ての	階 ~ 2階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	18,000円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有(円)	無	円	
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000円		

(4) 利用者の概要(8月15日現在)

利用者人数	18名	男性	7名	女性	11名
要介護1	4名	要介護2	6名		
要介護3	5名	要介護4	3名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 84歳	最低	70歳	最高	94歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	さくら病院、森木病院、森沢クリニック、みやべ歯科	2
---------	--------------------------	---

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

山間部に位置し山と川に囲まれた自然豊かな環境の事業所である。事業所は安心と安全を基本としている。利用者の大半が地元の方であり、また職員も地元出身者で、濃密な人間関係が形成されている。利用者は、共同生活の中で支えあい、お互いを認め合いながら暮らすことが出来ている。また家庭的な雰囲気も醸し出している事業所である。
この事業所は、縫製工場を改修した建物で、ゆったりとした間取りとなっており、職員の創意工夫で、昔の農機具などが装飾品として飾られたりと、落ち着いて暮らすことのできる生活の場となっている。そして、しっかりと地域に根ざし、利用者にとって希望に添った生活ができる事業所である。今後も現状の暮らしが継続できることを大いに期待したい。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>前回の改善点に対して、職員全員で改善に向け話し合いをし、改善計画を実践している。「職員を育てる取り組み」は、積極的に研修会に参加し、受講後は伝達講習をするなど、職員間で共有できている。「居心地の良い共同空間づくり」は、古い農機具等による装飾により、落ちついた共有空間が出来ている。「本人と共に過ごし支えあう関係」は利用者間でお互いに支えあい、お互いを認め合って過ごされている。改善に向けて取り組みができており、今後、大いに期待できる事業所である。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>自己評価については、施設長、管理者、職員全員が各項目ごとに意見交換を行い、現状と課題について話し合いがされた。</p>
重点項目②	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>運営推進会議は、これまで1回の開催となっている。運営推進会議の検討事項は、ホームの概要と取り組み状況が主となっている。運営推進会議の開催は、基準省令でおおむね2ヵ月に1回以上の開催が明記されている。今後は、事業所の透明性を高め質向上を図るためにも、定期的に継続して開催されることが望まれる。</p>
重点項目③	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族会は結成されていないが、濃密な人間関係が形成されている。職員の退職等もなく、利用者と職員は馴染みの関係が維持できている。家族向けの通信を毎月発行しており、その際には意見等を頂くようにしている。また家族が来訪された時には、積極的に暮らしぶり等を報告し、意見もいただけるよう配慮している。利用者の状況に変化がある時は、電話で報告するなど、家族にも安心していただけるよう対応されている。</p>
重点項目④	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>近隣にJA、商工会、消防署、診療所、社会福祉協議会があり、関係機関との連携は取れている。町内会には加入していないが、地域から事業所に対する協力関係はできている。利用者が地元の方であり、職員も地元出身者であることから、地域に溶け込んだ暮らしが出来ている。現状の暮らしが継続できるように職員の頑張りを期待したい。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 〔本法人が運営する3カ所の事業所の共通理念であり、事業所独自の理念ではない。〕 <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容であ 〔 〕	○	地域密着型の活動はできているので、今後、具体的な理念づくりを望む。
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 〔毎朝の朝礼で理念を唱和し、職員全員で確認している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 〔安心・安全で高齢者のペースに合わせた介護を心がけており、理念を具現化したものとなっている。〕		
取り組んできた。					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 〔地区会には加入していないが、職員が地区長であり、地域の情報を把握し地域の行事等に参加している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 〔地域の一斉清掃に職員が参加したり、利用者が地元の小・中学校の運動会や、太鼓の発表会などへ参加している。また中学生の職場体験の受け入れや訪問等を実施しており、盛んな交流が来ている。〕	○	地域の一員として地区会に参加することを望む。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔サービス評価の目的や意義等を管理者が説明し、職員全員に周知している。評価結果の記載にあたっては、職員全員で話し合い取り組んでいる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔前回の改善点について、職員全員に報告し改善に向けて検討したうえで、積極的に実践し改善している。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔本年以降、法人本部の施設長や行政担当者の異動等により、会議は開催していない。〕 <input type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔 〕	○	基準省令におおむね2ヵ月に1回以上の開催が明記されている。事業所の透明性を高めるためにも、早急に開催されることを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔相談ができる関係はできている。入居に際して、地域包括支援センターの職員には事業所での生活が可能かどうかなどの検討会にも参加してもらっている。〕		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 〔家族の来訪時には、積極的に近況報告を行うなど信頼関係ができている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 〔写真入の事業所便りを毎月1回家族に送付している。行事等の写真を同封するなど、利用者の暮らしぶりを伝えている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 〔家族へ定期的に報告し、出納帳も整理できている。しかしレシート等の領収書を事業所に保管してないので、領収書等のコピーを保管し金銭管理の透明性を高める工夫を望む。〕		
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 〔事業所には開放的な雰囲気があり、個々の家族と話し合ったり、家族同士が集う機会がある。今後は家族会を発足させ、更に家族の意見や苦情が出せる場を多く作る必要がある。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 〔開設以来、職員の退職、法人本部内の異動はなく、利用者が安心して暮らす環境及び馴染みの関係が出来ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 〔 〕		
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔毎朝の朝礼や2か月に1度開催の職員会で報告し、研修内容の共有をしている。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔事業所間の交流を行い、事業所のサービスのあり方等について話し合いをするなど、サービス改善に努めている。〕		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔入居に際し、家族や介護支援専門員、協力病院から必要な情報を収集している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔利用者や家族に事業所を理解してもらうため、体験入居等、希望に応じて柔軟に対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜ぶ哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔 〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔共に暮らすことが実践できており、ベランダの前の畑で利用者と一緒に野菜を植えるなど、協働して行っている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔利用者の大半が地元で農業を営んでいた方で、事業所内には、懐かしい農機具等が装飾品として飾られており、ホッとできる環境が出来ている。これらの道具の名称や、昔の暮らしぶりを利用者から聞くこともある。〕</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔利用者は大半が地元の方で、これまでの生活状況も把握しやすく、それが事業所での生活の中で活かされ、濃密な人間関係を形成している。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔職員も地元出身者が多く、利用者とは顔なじみであり、情報等を得ることが簡単で、これらの情報を職員全員で共有している。〕</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔家族の来訪時に家族の思いや希望を介護計画に反映しており、また計画の短期目標は達成できるプランとなっている。〕</p> <p><input type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔 〕</p>	○	<p>カンファレンスは職員全員で行っているが、本人や家族は参加していない。また介護計画はアセスメントから抽出された課題とはなっていないので、アセスメントの重要性、あり方等を検討し介護計画を立てることを望む。</p>
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔 〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔状態に変化があった場合は、見直している。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔個別性のあるプランとなっている。今後、さらにプランチェック表等でプランに沿ったサービスが提供できたかどうか等、評価しやすい仕組みを検討することを期待する。〕</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続ができるように努めている。 〔事業所近くに母体法人の診療所があり、急変時には対応している。また、母体法人の病院から1週間に1度の往診があり安心して暮らせる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔看取りの指針も作成し、医療連携体制もとれ対応できている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔お盆、お正月などの外泊や、かかりつけ医以外の受診の送迎等にも柔軟に対応している。〕		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔本人や家族の希望を受け入れ、柔軟に対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔一律に協力病院がかかりつけ医ではなく、入居前の病院に受診するなど、本人等の希望を優先している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔口頭で伝え、また連絡帳に記載し職員間で共有している。連絡帳にも職員がサインをしている。〕		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔看取りの指針や同意書を作成している。母体法人の診療所の医師や看護師との医療連携体制も十分図れている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期を迎えられるよう取り組んでいる。 〔家族に説明し要望を聞き、必要に応じてかかりつけ医も交え話し合いをしている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔利用者も職員も自然体で共に暮らしており、利用者と共生し職員がそと支援する体制が出来ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔 〕	○	玄関のカウンターに面会帳が置かれており、個人情報保護の観点から、面会カード等に変更し、カードをその都度処理することが望ましい。また個人情報マニュアル等を作成のうえ職員に徹底することが望まれる。
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔業務を優先することなく、利用者からの希望に合わせて対応している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔職員は日頃の介護においても、待つ姿勢と利用者のペースに合わせた介護を提供している。〕		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔献立は、利用者からの要望や、地域の方や家族から食材の差し入れもあり、頂いた物で献立を立てたりするので変更することもある。食事作りから片付けまで出来ることをそれぞれの利用者が行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助の止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔職員全員が同じ物を食べ、利用者と職員が楽しんで食事をしながら、利用者にとりさげなく心配りをしている。〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔利用者の好きな時間に入浴が出来る体制はできている。毎日入浴を希望する利用者もおり、利用者の希望に合わせた対応ができている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔 〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔一人ひとりの利用者の経験等を発揮できる場面づくりを積極的につくっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔利用者が出来そうなことを頼み、感謝の言葉がけをすることを心がけている。〕		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔散歩は日常化しており、利用者の体調を考慮し、馴染みの店やドライブで道の駅等に買い物に出かけている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔車椅子の利用者も、他の利用者と一緒に外出している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔 〕		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 〔利用者と職員の間関係はできており、安心して暮らせる生活の場ができています。もし利用者が1人で外出しようとする場合はそれを止めず、職員がそっと寄り添っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔事業所の近くには、地区長の自宅、JA、商工会、消防署、診療所があり、十分な連携が取れている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔防災マニュアルを作成し、消防署の指導により消防訓練を行い記録も残している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常食・備品を準備している。 〔非常食は、水、冷凍食品を3日分備蓄している。消火器も所定の場所にある。〕	○	事業所は水害等に遭う可能性があり、地域住民との協力体制を築いていくことが重要である。現在、緊急時の連絡網の作成を予定し、地域住民と訓練を行う計画をしているので、まずそれらを早急実施することが望まれる。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔食事、水分摂取のチェック表により把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔地域の方や家族から、四季折々の食材の差し入れがあり、差し入れられた食材を利用し、利用者の好みの献立で栄養バランスにも配慮している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔母体法人の栄養士から、栄養に関するチェックやアドバイスをもらっている。〕		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔建物は縫製工場を改築しており、ゆったりとした共有空間がある。懐かしい農機具等が部屋の隅に置かれ、ゆったりとした時間の流れを感じる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 〔利用者の大半が地元農家の方で、事業所内には、職員の工夫で昔ながらの飾りや、農機具を装飾品として飾ったりと創意工夫が随所に見られ、地域の豊かさを感じる雰囲気になっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔季節感のある花、果実がホームのあちこちに飾られ、和やかな雰囲気を醸し出している。〕		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔仏壇、使い慣れたタンス、ベット、たたみの部屋など、それぞれ個性的で生活感のある居室となっている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔 〕		